

経営学演習Ⅲ

必修 4単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、修士論文の作成に必要な研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

2. 授業の到達目標

- ・院生自身の専門領域における学説史の理解と基礎・応用的な理論の習得。
- ・博士前期課程2年次終了までに習得すべき研究方法論の習得。
- ・修士に相応しい学位論文を完成させること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・研究の進捗状況(年数回課す研究報告) 30%
- ・演習内での討議への貢献度 20%
- ・修士論文の内容 50%

で評価する。60点以上を合格とする。

遅刻、無断欠席は厳しく対応する。やむを得ず欠席する場合は、事前に大野に連絡すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふうろう出版

5. 準備学修の内容

報告日においては、当日までに研究の進捗を報告するための資料(修士論文の中間報告、進捗状況の報告をまとめた文書)を作成すること。報告日ではない日においても修士論文作成のために必要な文献の読解と修士論文の作成に努めること。

6. その他履修上の注意事項

- ・修士論文の完成に向け報告日以外でも各自で研究を進めておくこと。
- ・オンライン授業日については演習内で指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、春期休暇中の研究成果の報告
- 【第2回】 論文第2章の検討①(分析視角の提示)
- 【第3回】 論文第2章の検討②(必要な研究や理論を抑えているか)
- 【第4回】 論文第2章の検討③(実態との適合可能性の検討)
- 【第5回】 論文第2章の検討④①～③を踏まえ、指導教員と院生との討議により第2章を完成させる)
- 【第6回】 論文第3章の検討①(研究方法論の検討と研究進捗の確認)
- 【第7回】 論文第3章の検討②(研究進捗の確認)
- 【第8回】 論文第3章の検討③(研究方法の決定)
- 【第9回】 論文第3章の検討④(調査対象企業・組織の決定)
- 【第10回】 論文第3章の検討④(調査項目の検討)
- 【第11回】 論文第3章の検討⑤(調査項目の完成)
- 【第12回】 論文第2～3章の文字起こしの確認と指導教員による修正指示
- 【第13回】 論文第2～3章の最終確認と完成
- 【第14回】 論文第4章の検討①(事例部分の検討、1つ目の事例の検討)
- 【第15回】 前期の総括と夏期休暇中の研究計画(院生によるプレゼンテーション)
- 【第16回】 論文第4章の検討②(1つ目の事例の検討と完成)
- 【第17回】 論文第4章の検討③(2つ目の事例の検討)
- 【第18回】 論文第4章の検討③(2つ目の事例の検討と完成)
- 【第19回】 論文第4章の検討④(事例を検討しての小括の検討と内容についての討議)
- 【第20回】 論文第4章の検討⑤(前回の訂正指示を反映させ、小括の完成)
- 【第21回】 論文第5章の検討①(事例の解釈の検討と内容についての討議)
- 【第22回】 論文第5章の検討②(前回の訂正指示を反映させ、事例の解釈の完成)
- 【第23回】 論文第5章の検討③(論文の提言部分の検討と内容についての討議)
- 【第24回】 論文第5章の検討④(前回の訂正指示を反映させ、提言部分の完成)
- 【第25回】 終章の検討①(論文の含意、眼界、課題の検討と討議)
- 【第26回】 終章の検討②(前回の訂正指示を反映させ、終章の完成)
- 【第27回】 論文の全体の検討(全体的な内容の確認と指導教員による修正指示)
- 【第28回】 図表の再検討
- 【第29回】 修士論文口頭試問を想定した修士論文のプレゼンテーション①(指導教員と受講者による討議含む)
- 【第30回】 修士論文口頭試問を想定した修士論文のプレゼンテーション②(前回受けた訂正指示を反映させ、内容の精度を高める)